



“ 斜里市街に活気を生み、
地域が繋がるきっかけに ”

一般社団法人 知床しゃり ひらの まりえ 平野 麻莉絵 さん



**斜里町らしさがつまった
憩いの空間**

これまでトコさんグッズ等の卸売が中心で、常設の店舗出店は新たな試みとなる(社)知床しゃり。出店にあたり、空間デザインから商品開発、店舗運営まで多岐にわたりに携わってきた平野さんにCOBAKO Shariへの思いを伺いました。

「これまではグッズ販売のイメージが中心で、地域活性化の取組みについては外から見えづらい所がありました。そんな中、斜里市街の活性化や知床観光への貢献を考えたとき、地域の交流拠点を目指す道の駅と目的が合致していることから出店の検討を進めさせていただきました」

店内の空間・什器は、町内で活躍する若いクリエイターとタッグを組み、斜里町の自然とサステイナビリティをイメージしてデザイン。店内に多数配置されている棚やテーブル・イスは町内産のトドマツを使用して「すずこ丁寧」に作られており、斜里町らしさを感じられる心地のよい空間となっています。

オープンして以降、観光客の方はもちろんのこと、地域住民の皆さんもコーヒーを飲み度々訪れるなど、早くも癒しの空間として根付きつつあるCOBAKO Shari。

今後はさらに地域の交流拠点の場として活用されることを目指しています。

「COBAKO Shariが誕生し、長期休みや土日は地元の高校生を雇うなど、様々な側面で地域との繋がりが生まれています。観光シーズンも徐々に落ち着き、これからさらに地元の皆さんに利用してもらえらるようなマーケットやワークショップなどを開催できたらいいですね」

道の駅しゃりを拠点として、あらゆる世代・地域・国籍の人々が繋がる場を目指すCOBAKO Shari。まずは一度足を運んでみてみませんか？

Shiretoko Sustainable Station
COBAKO Sapporo

(一社) 知床しゃりは札幌の都市型水族館・AOAO SAPPOROにも『Shiretoko Sustainable Station COBAKO Sapporo』をオープン。知床へ興味を持ってもらい、知床へ訪れるきっかけを生み出すこと、また、「知床に関わりを持ちたい」という人と新たに会うことで知床の豊かな生態系を未来へ繋いでいくことを目指し、情報発信と物品販売を行っています。



☎ 一般社団法人 知床しゃり Mail : info@shiretoko-sustainable.com



道の駅しゃりに新たな販売・交流拠点が誕生！

シレットコ サステイナブル ステーション
Shiretoko Sustainable Station **COBAKO Shari**

来訪者と地域住民を
繋ぐ交流の場に

「知床トコさん」の商品開発や地場産品販売、観光関連サービスの提供などを行う一般社団法人知床しゃりが、道の駅しゃり館内に販売・交流拠点『Shiretoko Sustainable Station COBAKO Shari (以下、COBAKO Shari)』をオープンしました。

COBAKO Shariは、(一社)知床しゃりが初めて直営する「ショップ兼地域コミュニティの場」です。店内では「知床トコさん」の商品をはじめ、知床の多様さを表現したデザインのグッズや町内で作られた工芸品等を販売するほか、コーヒーや斜里町の農産物を使用したにんじんジュース、しそジュースなどの飲料提供も実施。

「人々がふれあい・にぎわう『交流ひろばづくり』をコンセプトとする道の駅しゃりが(一社)知床しゃりとのコラボレーションによって、ビジターと町民の皆さんを繋ぐ新たな交流拠点の場を生み出します。



ハンドドリップのコーヒーから交流が生まれる



出店に伴い新たに制作したグッズ



《空間デザイン》北層 《什器製作》小坂建築